

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助	その他補助	開始時期	平成29年4月1日	終期	令和元年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	新潟市浄化槽設置整備事業補助金 家庭からの生活排水が河川などを汚す大きな原因となっているため、公共下水道認可区域等以外の地域に住宅用浄化槽を設置する方に、予算の範囲内で設置費用の一部を補助する。							
款・項・目	衛生費 保健衛生費 環境保全費							
所属等	環境部 環境対策課 水質係 電話 025-226-1371							

年 度	平成29年度(1年目)		平成30年度(2年目)		令和元年度(3年目)	
予算額等の推移	予算(千円)	52,983	国 25,891	24,912	国 6,220	24,912 国 6,220
	決算(千円)	43,021	国 27,092	12,348	国 961	24,912 国 3,954
補助率	1/2、1/3		1/2		1/2	
目 標	年度毎に設定する設置基数 平成29年度120基、平成30年度30基、令和元年度30基 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上					100.0% 30基
	達成率80%以上	87.5%	105基			
	達成率50%以上					
	達成率50%未満			46.7%	14基	
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください					
補助事業者による情報の公表	可能な限り新潟市からの補助金を受けている旨表示する。					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	×	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 補助申請が低調であったため、国助成金の減額を要望したが認められず、年度間調整の指示があった。生活排水対策の観点から、単独浄化槽等からの転換に特化し、今後も制度の周知につとめる。 <g～hにおける取組>				
	目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 補助対象を平成30年度から転換のみに限定したため、水洗化に対するインセンティブが働かなかったものと推察される。			
① 拡充・改善(補助率, 補助額, 補助対象経費, その他) ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 国の制度、他都市の状況を参考にしながら、引き続き制度の周知に努め、予算の範囲内で設置費用の一部を補助する。					